

令和4年度 子ども大学こしがや・まつぶし

1 実施体制

子ども大学〇〇	学長	石原 俊一（文教大学 地域連携センター長）
	副学長	なし
子ども大学〇〇実行委員会	実行委員長	木村 響（松伏町教育委員会）
	実行委員 （関係団体）	松伏町教育委員会、越谷市教育委員会、 文教大学、埼玉県立大学、越谷青年会議所、 NPO 法人子育てサポーター・チャオ

2 事業内容

開催期間	令和4年10月8日～令和4年12月17日			
参加者数等	定員	50名	応募者数	55名
	参加者数	4年 20名	修了者数	4年 19名
		5年 27名		5年 25名
		6年 8名		6年 8名

3 実施内容

1日目	開催日時	10月8日（土） 10:00～12:00（入学式含）	写真  講義中、学生の発表
	会場	文教大学	
	講義名	「紙を折って考えよう—面白くて簡単な規則性と推論、累乗、指数関数」	
学	講師	文教大学教授 石井 勉	
2日目	開催日時	10月22日（土） 14:00～15:30	写真  講義中、グループワーク
	会場	埼玉県立大学	
	講義名	「ジャンプカを知ろう！測ろう！！」	
学	講師	埼玉県立大学教授 八十島 崇	
3日目	開催日時	11月26日（土） 14:00～15:30	写真  講義中、風船を使った聴診器の作成及び体験
	会場	埼玉県立大学	
	講義名	「聴診器をつかってみましょう」	
学	講師	埼玉県立大学教授 渋谷 えり子	

4日目	開催日時	12月17日(土) 13:20~14:50(修了式含)	写真 
学	会場	文教大学	
	講義名	「住まいの知恵や工夫を探ってみよう！」	
	講師	文教大学教授 妹尾 理子	講義中、発表挙手
5日目	開催日時	〇月〇日(〇) 〇〇:〇〇~〇〇:〇〇	写真
学	会場		
	講師		
			キャプション

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・保護者の見学はなしにした。
- ・講義室の換気（換気扇や扉の常時開放）
- ・その他、基本的な対策（マスク、手指の消毒、検温等）

5 参加者の声

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を受けて、いままで知らなかった事がたくさん分かりました。分かりやすく教えてくれたので、楽しかったです。 ・3日目のちょうしんきのつくりや歴史が分かりやすくしれ、じっさいにさわることができて楽しかった ・来年は、中学生になるので受けられないけれど、色々なことを新しく知れたり、どうしてだろうと思っていたことが解決したりして、楽しかった。 ・友達といっしょに講義も受けられて、分かりやすい授業だったので、どんどん、興味を持って学習に取り組めたのでよかったです。
保護者の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・息子は現在不登校で小学校に行かない日がつづいていますが、子ども大学は楽しくいけました。また機会があれば参加したいと言っています。 ・初めての参加でした。第一回目を終えて帰ってきた日は内容が難しくて、この先大丈夫かなと不安がっておりましたが、大学という場所や、いつもとは違うお友達と学べる環境がとても刺激的で、楽しかったと毎回目を輝かせて報告してくれました。 ・大学の雰囲気を感じて、学校以外の学びの場があった事は将来の大きな希望に繋がると感じます。本人は意欲的で、親としてもお金をかけずに色々な経験が出来る機会を与えてあげられて感謝しています。